

平成22年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成22年5月28日(金) 午後1時15分～2時45分
場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

1. 開 会 進行 仙賀副町長：事務局長

これより平成22年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を開催いたします。開催に当たりまして、宮脇町長からあいさつをお願いいたします。

2. 町長あいさつ

皆様こんにちは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今日は東郷湖活性化プロジェクト推進会議ということで、皆様もよくご存知かと思いますが、実は私はこのプロジェクトが今の湯梨浜町の中で一番全体をカバーした大きな取り組みだと思っています。それだけ住民の皆様に参加をいただきながら、それぞれの事業所あたりもご協力をいただいて、色々な分野で色々な活動を推進しているところです。今日は、新たに委員にご就任いただきまして初めての会議ということで、会長、副会長の選出、そして、これまでの実績の確認、或いは平成22年度事業計画についてのご議論をいただくことになっています。基本的な考え方は、この一覧表に書いてありますとおり、その事柄について具体的な成果を目指して頑張っていこうという思いでやっています。委員の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせ願ひまして、このプロジェクトが益々実り多きものとなることを祈るものでございます。また、先週の日曜日トライアスロン大会がございました。多くのボランティアの皆様にご協力いただきまして盛会裏に終えることができましたこと、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。それからもう一点、NHKの6月7日昼の放送ですけれども、「生中継 ふるさと一番！ 漁師が守る大粒シジミ」ということで湯梨浜町が紹介されることになっています。NHKからいただいた資料で、漁師が守る大粒シジミというのは確かに、漁師さんも漁の制約などされて守っていらっしゃるんですけども、住民の皆様も多く参加して守るための努力をしておられる訳でございまして、一番よいのはこの活性化プロジェクトの取り組みの項目表を鳥取放送局に送って、このような取り組みをしているということを見ていただければ多少認識も変わるのではないかと思います。ぜひご覧いただければと思います。本日はたいへんお世話になりますが、よろしく願ひいたします。

3. 委員紹介 進行 仙賀副町長：事務局長

それでは、委員紹介でございますが、東郷湖活性化プロジェクト推進会議設置要綱第2条第1項により、委員の任期は2年間でございます。資料に基づいて自己紹介をお願いいたします。

※別添資料により順次自己紹介

4. 会長、副会長の選出 進行 仙賀副町長：事務局長

それでは、会長、副会長の選出に移ります。東郷湖活性化プロジェクト推進会議設置要綱第5条第2項によりまして、会長、副会長は委員の互選によることとなっています。どのような方法で選出させていただければよろしいでしょうか。

事務局一任ということでもよろしいでしょうか。（異議なし）

それでは、事務局から案をお願いいたします。

（事務局：中本企画課長）

事務局案といたしまして、引き続きではございますが、

会 長 山田 修平（鳥取短期大学理事長、学長）

副会長 宮脇 正道（湯梨浜町長）

ということでご了解いただきたいと思います。

以上のように、事務局推薦がございました。委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。よろしいでしょうか。（拍手多数）

そういたしますと、東郷湖活性化プロジェクト推進会議設置要綱第6条第1項によりまして、会長が議長となることになっておりますので、以下協議事項につきましては、会長に進行いただきます。

5. 協議事項 進行：山田会長

引き続き会長ということで、受けさせていただくことになりました。冒頭に町長からごあいさつがありましたように、この湯梨浜町で東郷池が、本当に湯梨浜町全体が盛り上がることになると思います。前2年間、私の印象ではこの会議で様々な取り組みがされているんですけども、それをいかに連携して総合力にするかということと、もう一つは、一生懸命やっているけれども、どう結果が出たかということを見なくてはならないので、数値目標をつくろうという取り組みをしてきたところです。

協議事項ですが、時間設定で2時45分を目処にしたいと考えていますのでよろしく願いいたします。

（山田会長）

それでは、協議事項（1）東郷湖活性化プロジェクトの概要について、事務局から説明をお願いいたします。

（事務局：林）

それでは、レジュメに沿いましてご説明をさせていただきたいと思います。冒頭よりございましたけれども、委員の委嘱期間である2年間が経過いたしまして、改めて各団体等をお願いさせていただきました。委員の皆様方におきましては、継続してお願いをさせていただいた方もいらっしゃるし、新しくご参画いただく方もございますので、まず全体の概要をご説明させていただきたいと思います。資料の1ページでございます。東郷湖活性化プロジェクトの概要でございますが、その目的といたしましては、東郷湖が湯梨浜町の中央部に

位置しており、湖中から湧き出るはわい温泉、東郷温泉をはじめといたしまして、伯耆一宮などの歴史資源、もちろん池にはシジミという特産品もあります。また、その周辺には町を代表する二十世紀梨を中心とした特産品等々もございます。そういった資源を一つのバロメーターとしながら、観光ですとか、環境、或いは農林水産業等様々な分野での振興、地域活性化を図っていこうということで設置されたものでございます。このようなことを前提としながら、総合的な観光振興、農林水産業振興、環境施策等を推進していくために、各団体、個人を含めましてもっと情報を共有し、横のつながりを持ちながら、より連携を深め伸ばしていこうということが推進会議の位置づけでございます。東郷湖を中心といたしまして、観光、環境、産業、その他地域資源ということで、4つの大きな区分けをしながら具体的な目標設定をしています。「環境」につきましては、「東郷湖を昔の美しい姿に」ということを目標に、後程事業報告等でお話をさせていただきますので、内容は割愛させていただきます。「観光」につきましては、「東郷湖を観光振興の拠点に」、「産業」につきましては、「東郷湖の周辺環境を生かした農林水産業の振興を」、また、「地域資源」につきましては、「東郷湖周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を」という大きな目標を設定してございます。引き続きまして2ページでございます。東郷湖活性化プロジェクト達成のための手法ということで、平成20年5月8日に本推進会議を設置いたしまして、2年間皆様方のご協力を得て様々な活動を実施してきているところでございます。資料に簡単な図を記載していますが、それぞれの分野で実施していることをもっと情報共有しながら、更に本推進会議で取り組みの推進を図っていこうというものでございます。次に3ページでございますが、具体的目標を設定してございます。平成27年度末までということで、環境、観光、産業、資源それぞれの分野で設定しています。まず、「環境」という部分でございますが、地域住民の生活に密着していた頃の東郷湖に戻すということで、東郷湖の水質(COD)＝化学的酸素要求量ということで湖の汚濁を測る指標を4.5mg/lに設定しています。前後しますが、資料4ページをご覧ください。数値目標の根拠ということでこの環境分野につきましては、目標に対して平成18年度から21年度までの推移を記載しています。21年度につきましては、5.5mg/lということで18年度から比べますと若干数値は後退している結果となっています。また、「観光」分野につきましては、風光明媚な東郷湖周に観光客を呼び込むということで、観光人口、宿泊客を年間20万人に設定しています。記載の数値は、鳥取県観光入込動態調査報告に基づき算出したものでございますが、18年度に比して21年度の数値は大きく落ち込んでいるところでございます。なお、21年度につきましては、1旅館が改修のために約1年間休業されていたということもございまして、春先にインフルエンザが流行ったということで、旅館のキャンセル等も相次いだということも大きな要因のひとつとして挙げられるものと考えています。「産業」分野につきましては、東郷湖からの水産物、或いはその周辺の農産物のブランド化を図るといような目標を持って、シジミの年間漁獲量200トンを維持するというものです。18年度200トン、21年度218.4トンということで、現在は安定的に収穫されているところです。参考で記載していますが、平成22年3月31日現在、組合員が63名いらっしゃるということで、単純

に20操業で1日15kgとすると226.8トンということになります。昨年は、禁漁期間を設定されていたということをお聞きしておりますけれども、今年については6月に総会があるということで、現状では不明であるということです。そのことを含めて、数量については12月試算をしております。「資源」分野につきましては、東郷湖周辺に点在する歴史資源を再認識しながら、その磨き上げをしていくということで、各事業の目標値を90%以上達成するという目標を掲げております。資料3ページに戻りますけれども、実施主体、それから推進会議の役割を簡単に図示してございます。実施主体につきましては、後程報告があると思っておりますけれども、事業内容を検討、集約するというところで、推進会議の場で事業の進捗状況の報告において皆様からご意見を伺うという体制でございます。昨年、皆様のご意見をいただいて、役割分担をしておりますが、実施主体から推進会議に当たっての提案をしていただいたものをこの推進会議で検討する、或いは重点事業を設定いたしまして、各事業に対する提言を行っていく、提言を行ったものに対して各実施主体で様々な検討をしていただくという流れでございます。資料5ページについては、今の体制の大まかなフロー図を記載しておりますので、後程ご覧いただければと思います。以上、事務局からの概略説明ということでご理解いただけたらと思います。

(山田会長)

何かご質問はありますか。

(荒木委員)

こうして取り組んでいる観光ということと繋がるかもしれませんが、健康ということでこの間もトライアスロン大会がありましたけれども、東郷湖周辺には運動施設もあります。観光プラス健康ということで、商工会観光部会で「健康とスポーツと保養の町湯梨浜」として取り組んでいきたいと今年目標にしているところです。ここで見ると健康ということが全く見られない、滞在型の旅館等の施設を使うということで集客を多くするとかということもありますので、スポーツ、健康ということで取り組んでみてはどうでしょうか。

(山田会長)

平成22年度の事業計画のこともありますので、今後の取り組みの中で検討していきたいと思っております。その他、ありませんでしょうか。

(福羅委員)

問い合わせをする時ですけれども、どこにすればいいのでしょうか。

(山田会長)

事務局がどこかということですか。

(福羅委員)

事務局もそれぞれ問い合わせをするところが、自分のところは環境に関係するからとかというように判断して進めるのか、とりあえず林さんに言えばいいのでしょうか。

(事務局：林)

この会議のトータル的なことは事務局の方にお話をいただければと思います。事務局の方から、場合によっては各関係先の方に連絡をさせていただければと思います。

(福羅委員)

環境、観光等内容によっては、事務局が産業振興課もあれば企画課、建設水道課もある。私だったら林さんに聞ききますけど、こんなことやっていますよと誰かに聞かれたときに、誰に言ったらいいのですか、事務局に言ってくださいというのは分かりづらいと思う。

(仙賀副町長)

トータルの整理していきたいと思います。

(山田会長)

その他ありますか。

(本田委員)

「山陰八景」という表現は、今も生きているのですか。これは、昔のことを言っている訳ですか。

(宮脇町長：副会長)

昔と言ってもそんなに昔のことではないと思います。

(川崎委員)

私の写真集「東郷池」に書きました。島根の方の今も存在する新聞社かどうか分かりませんが、鳥取、島根で八景を募集したところ、東郷池はその中に入っているということです。正しい資料は湯梨浜町図書館でお尋ねされるといいと思います。ということで、山陰八景は存在しています。近年は私の写真集にうたっていますから。

(本田委員)

一般的に通用しているかどうか。言葉の中に入れるのであれば、山陰八景の説明をしなければならぬのでは。

(川崎委員)

はわい温泉・東郷温泉旅館組合がこの春にポスターを作られました。その中にも山陰八景はうたっています。ですから、売りとしては使っているようですね。

(事務局：林)

本田委員からもご指摘がありましたけれども、説明も併せて前向きに宣伝していくということでご理解いただければと思います。

※別途山陰八景資料配布

(山田会長)

まだ、(2)、(3)の議題、意見交換がありますので、ご意見等はその時にいただければと思います。

それでは、平成21年度の具体的な事業報告を各課からお願いできればと思います。資料は6ページから、環境部門から順次関係課からお願いいたします。

(山田町民課長)

環境部門のno.1水草肥料化調査ですが、担当は町民課です。東郷湖の水質浄化を進める会で取り組んでおります。これは例年行っておりまして、昨年で2年目が終わりました。内容につきましては、進捗状況・実績欄に記載しておりますけれども、9月22日にフサモ

の刈り取り、葦の刈り取りを行っております。畑の肥料ということで、小学校、保育園等に配っております。今日ご出席の岩田さんのネギ畑にも入れさせていただいて、残りについては、バーク堆肥と一緒に保育所等に提供しています。

no. 2の魚道設置であります。平成19年に実施しましたが、20年、21年は実施していません。

no. 3の東郷池を守るアダプトプログラム制度の導入ですけれども、現在登録団体が19団体となっております。中部総合事務所、各金融機関等にもご協力いただいております。これまでの活動で集めていただいた回収ゴミの推移を記載していますが、これをもっと幅広く地域の方のグループ等に声を掛けてこの活動を充実させていきたいと考えています。

(戸羽産業振興課長)

no. 1水草肥料化調査進捗状況・実績の下段に記載しておりますが、東郷池クリーンアップ事業を10月の2日間実施しています。東郷湖漁協が主体になりまして、湖面、或いは湖中の作業を行っています。

no. 5シジミの生息環境改善対策については、シジミの生息、増殖につなげるための覆砂を実施しています。10月に500㎡の覆砂量でございます。

no. 7湖産物メニュー化促進でございますが、これは商工会地域活性化委員会の方でシジミの創作料理を企画しながら、現在ではレシピを作成しているところです。進捗状況については、11月にゆりはま市を開催しています。

no. 8観光客誘致でございますが、旅館組合でカニバス事業を実施しています。12月4日から翌年の3月末までで、集客は約4,300名です。前年が約6,000名で、他との競合、インフルエンザ等の影響もあって減少したものと考えています。

no. 9特産品販売促進活動でございますが、名古屋方面、或いは9月に東京アンテナショップでキャンペーンを実施し、本町の特産品である二十世紀梨の販売促進を行っています。

no. 10観光商品造成戦略活動でございますが、町内で観光商品として今滝「滝床料理」、東郷梨選果場見学ツアー、野花梅溪散策ツアーがあり、継続した宣伝や維持に努めています。観光客誘致宣伝キャラバンということで、東京、広島等で宣伝活動を実施しています。

no. 11ホワイトライアスロンについて、昨年5月に第1回を開催しました。観光振興、或いは町内の方にも多数ボランティアとして参加していただき、地域の活性化にも繋がったものと考えています。

no. 15水源域森林育成作業でございますが、当初「とっとり共生の森」事業で候補地として提案していましたが進展がなく、鉢伏山生活環境保全林内で植林体験事業を検討しましたが、敵地がなかったことから今後再検討が必要でございます。

no. 16エコファーマーの推進でございますが、計画の認定者が1,107名となりました。農協の方で防除暦が農薬の減、化学肥料の減を目標において、鳥取県特別栽培農産物認証制度の特別栽培農産物への認証に向けて、継続して推進を図っているところです。

(岸田建設水道課長)

no. 4水質浄化覆砂事業及び効果検証でございますが、平成21年度におきましては、

凡そ15,000m³の覆砂を実施しております。11月と3月で実施されたということです。効果検証につきましては、3月で委託されているようでして、調査項目としまして、底質＝湖の下の土質、それから生物調査、水質ということで調査を行っております。21年度につきましては、底質の全チツソ、全リンが若干減少している、それから生物につきましては、ゴカイ等は確認できたようですけれどもシジミの稚貝は確認できなかったということです。水質につきましては、局地的な変化はないと、今の段階でこのような報告をいただいております。

no. 17 観光ルート整備でございますが、道路改良と観光バス等の駐車場、観光案内看板等の整備ということで、一の宮の道路につきましては、大型バス2台駐車できるよう設置をいたしました。不動滝につきましては252m、道路拡幅含めて実施しております。観光案内看板につきましては、町内で4基設置いたしました。文化財案内標識として、町内に説明版8基、標柱2基、道路標識1基設置し、すべて完了いたしました。

(蔵本生涯学習・人権推進課長)

no. 18 東郷荘絵図活用導入事業でございますが、東京大学史料編纂所の調査は21年度行われませんでした。只今建設水道課長の方からも話がありましたが、文化財説明板として東郷湖周辺のもの、主なものとしたしましては馬ノ山4号墳の説明板を替えまして、橋津のお台場の方に新設いたしました。依水飯店の北側隅辺りがちょうど東郷荘絵図の領家分と地頭分の境界線があった所ということで、その辺りに説明板を設置いたしました。

(中本企画課長)

no. 6 稚魚放流調査でございますが、サケの飼育放流プロジェクトに役場として協力参加するというので、毎年実施しています。羽合庁舎及び東郷支所に水槽を設けて、サケを卵から孵化させて放流するというので、12月からサケの飼育をして3月に放流をしているところでございます。

no. 12 湯梨浜夏まつりでございますが、実行委員会形式で湯梨浜夏まつりを実施しています。水郷祭が7月20日、はわい温泉まつりが8月1日と予定通り実施いたしました。燕趙園の庭園花火・ライブについても、8月15日、16日予定通り実施したところでございます。

no. 13 中華コスプレプロジェクトでございますが、こちらについても実行委員会形式で実施させていただいています。実施結果といたしましては、第6回中華コスプレ日本大会ということで、5月16日、17日に開催しております。また、第2回中華コスプレアジア大会を10月24日、25日に開催しているところでございます。

no. 14 東郷湖ドラゴンカヌー大会でございますが、東郷湖の中でドラゴンカヌーということで、皆さんよくご存知かと思えます。第9回東郷湖ドラゴンカヌー大会を8月23日に開催いたしました。101チームの参加をいただいたところでございます。

no. 19 東郷湖活性化シンポジウムということで、推進会議が開催したという形になっています。進捗状況でございますが、11月12日ハワイアロハホールにおいて記念講演を実施しています。「東郷池の魅力と可能性を語る」ということで、福井 昌平さんをお招き

して講演をいただいたところでございます。また、アダプトプログラムの紹介ということで、羽合小学校、東郷小学校の生徒さんをお願いして、紹介を行ったところでございます。それと、パネルディスカッションを実施しました。

no. 20 東郷池ロハスプロジェクトでございますが、東郷池と周辺にロハスな地域イメージを確立し、観光振興や新規ビジネスの展開を図るということで実施しています。進捗状況としましては、国との委託契約を8月18日に締結、①ロハスな水際生活の推進ということで、研修会、ワークショップ、シンポジウムを以下のとおり開催しています。②ロハスビジネス展開調査ということで、映像配信、CDドラマの作成、③癒しの水際空間創造実証実験としてシジミ採りイベント、ポンポン船の復活、④池畔の駅前周辺エリア再生チャレンジということで、松崎駅前の賑わい創出実証実験等を実施いたしました。

no. 21 ゆりはま塾でございます。町の誇る歴史、伝統、自然環境等について、後世に語り継ぐ人材を育成するために「ゆりはま塾」を開講するというので、4月から3月にかけて講座を開催いたしました。計3回の講座ということで、内容につきましては、記載のとおりでございます。

no. 22 東郷湖活性化プロジェクト推進会議でございますが、第1回推進会議として6月5日、第2回推進会議として11月27日に開催しております。

(山田会長)

それではどの分野でも結構ですので、質問なり、ご意見なりありましたらお願いいたします。この後、平成22年度事業計画をお話していただきますので、その時に併せてでも結構です。よろしいでしょうか。それでは、22年度のご説明をしていただいてからご提案をいただきたいと思っております。それでは22年度の説明をお願いいたします。昨年と同じでしたらその部分は簡単に、新しいことがあればその部分は強調していただくということでお願いします。

(戸羽産業振興課長)

no. 5 シジミの生息環境改善対策でございますが、砂の確保が今できておりませんので、確保ができ次第に実施したいと考えています。

no. 6 内水面の環境保全でございますが、9月から10月頃に実施を予定しています。

no. 8 湖産物料理メニュー化促進でございますが、現時点で特段の新規実施メニューはありません。今後は、商工会活性化委員会、観光部会、加工所等と検討していきたいと考えています。

no. 9 観光客誘致でございますが、例年通り旅館組合において実施予定であります。

no. 10 特産品販売促進活動でございますが、県等のイベントに参加するという形で魅力創出を図っていきたく思います。また、町内の各種特産品を活用した土産物を作りたいということで、町観光協会の地域づくりプランナーと連携しながら、力を入れて取り組んでいきたいと考えています。また、首都圏や関西などに販売促進活動を実施していきたいと考えています。

no. 11 観光商品造成戦略会議でございます。戦略会議の開催はもちろんですけれども、

地域づくりプランナーと連携しながら、今ある今滝「滝床料理」、東郷梨選果場見学ツアー、野花梅溪散策ツアーの継続宣伝や維持に努めるとともに、新たな観光商品の造成を図っていきたいと思います。

no. 13 ホワイトライアスロンでございますが、今年も先週土・日で実施いたしました。選手、或いはボランティア、スタッフなど多くの方にご参加いただきました。今後、町内への宿泊がどうだったのか、観光振興、町内外への情報発信がどうだったのか、その当たりを検証していく必要があると思っています。

no. 17 水源域森林育成作業でございますが、国の交付金で緑の産業再生プロジェクト事業が前提でございます。森林組合等とも連携しながら、森林、竹林を整備できるような取り組みをしていきたいと考えています。

no. 18 エコファーマーの推進でございますが、「鳥取県特別栽培農産物認証制度」の特別栽培農産物への認証に向けて、継続して推進していきたいと考えています。

(山田町民課長)

no. 1 水草肥料化調査でございますが、東郷湖の水質浄化を進める会で、先般実施することが決まったところでございます。

no. 2 魚道設置試験につきましては、平成22年度未実施でございます。

no. 3 東郷池を守るアダプトプログラム制度の導入でございますけれども、4月以降2団体の加入があり、今のところ21団体と増えておりますが、更に高校に働きかけまして増やしていきたいと考えています。

(岸田建設水道課長)

no. 4 水質浄化覆砂事業及び効果検証でございますが、今年も15,000m³の覆砂を予定しています。効果の検証につきましては、平成24年まで実施する予定でございます。

no. 19 観光ルート整備でございますが、今年度は今滝へ大型観光バスでの乗り入れを可能とするために、改良を実施しようと考えています。現在、測量設計は発注しております。10月末までの工期となっております。これが終われば工事を発注する予定でございます。

(蔵本生涯学習・人権推進課長)

no. 20 東郷荘絵図活用導入事業でございます。実施スケジュールに記載しておりますが、東京大学の調査研究事業につきましては、東郷地域の絵図のデジタル化を予定しておられます。もう一つ、平成14年に旧東郷町が発刊しております「東郷湖周辺の文化財」といパンフレットがございますが、部数が少なくなりまして、今年度改訂版を作成したいと考えています。内容にも東郷荘絵図の記載がございますので、こちらの内容も入れていきたいと思っています。

(中本企画課長)

no. 7 稚魚放流調査でございますが、今年も引き続き実施していきたいと考えているところでございます。

no. 14 湯梨浜夏まつりでございますが、今年も実行委員会を立ち上げて、準備を進め

ているところでございます。

no. 15 中華コスプレプロジェクトにつきましても、5月22日、23日に実施されたところでございます。

no. 16 東郷湖ドラゴンカヌー大会につきましては、8月22日開催予定ということで、現在準備をされているところでございます。

no. 21 東郷湖活性化シンポジウムでございますが、平成21年度湯梨浜町合併5周年記念式典として実施いたしました、今年度の計画はございません。

no. 22 東郷池口ハスプロジェクトでございます。昨年から実施した訳でございますが、国の事業仕分け等の影響も受けまして、国からの補助がないこととなりました。個別事業については個々で発展的に実施することとしています。

no. 23 ゆりはま塾でございますが、今年度も引き続き実施していきたいと考えています。

no. 24 藤津公園の地盤沈下対策ということで、藤津のあやめ池公園の多目的広場（＝芝生、ドラゴンカヌー大会の出発地点）の所が地盤沈下により水が上がってくるような状況でございましたので、県の方に町からも要望を重ねてまいりました。その結果、県の方が何らかの形での改良をしてくれることになり、21年度から設計を始められたところでございます。利用されている協会等との意見交換を実施しながら、今年度設計を完成していくという予定でございます。

no. 25 東郷湖活性化プロジェクト推進会議でございますが、随時調整しながら実施していきたいと考えているところです。

（山田会長）

それでは、説明が一通り終わりましたので、皆さんからのご意見、ご質問はありませんでしょうか。

その前に先程の山陰八景について、町長からご説明お願いいたします。（資料配布済）

（宮脇町長：副会長）

この山陰八景の資料は、県のホームページにあります、「鳥取雑学本舗」という欄から拾ったものでございます。どうもこちらに書いてありますように、山陰日日新聞が読者に募集して投票により定めたもので、東郷池が選ばれたということです。資料の最後のところに書いてありますが、今この日日新聞自体はないんですけれども、八景であるとか百選であるとか、使う側の人間がきちんと主張していけば、後に残っていくという解釈もできる訳で、最後に書いてありますように、「現在もさまざまな百選の全国募集などが時折実施されていますが、このような機会を逃さず、選を獲得していくことの大切さを改めて感じました。」とそのような観点から、せっかくいただいているものですから、きちんと主張していくことが大事なのではないかと思えます。それから、町報の今月号を回覧させていただきましたが、今月号ではアダプトプログラムの取り組みを紹介させていただきました。水草の肥料化など、折りに触れて町民の皆様はどういう活動をしているかを紹介していきたいと考えています。アダプトプログラムは、最終的には東郷池をぐるっと一周できるのが目標なので、今の状況

がわかるようなことを町民の皆様にという意味で6月号に掲載した訳です。

(山田会長)

それでは、ご質問がある方はどうぞ。いかがでしょうか。

(本田委員)

今色々聞きましたけれども、昨年は北栄町が環境日本一なっていますね。参考になるところはあるのではないかと思います。これだけ活動をしていて、この地域が、例えば県内、或いは全国に発信できることをしているのに何か足りないのではないかと感じます。一体この近辺でやられている総合対策と個々の対策と、ほっておくということではないと思いますが、何か知恵の出し所に工夫が足りないという感じがいたします。行政がどのように考えていらっしゃるでしょうか。

(宮脇町長：副会長)

北栄町が全国一位になられたということですがけれども、実は以前に三朝町が一位ではないですがけれども何かもらわれたことがあるようです。どうも対象の数としては少ない中から、手を挙げたところが少ない中から選んでいるということで、その対象の母数自体が少ないようです。私は北栄町の環境問題に関してしっかり取り組んでいらっしゃるということがあって、湯梨浜町と北栄町は少し違っていると思います。北栄町は、要するに環境家計簿のような個人個人が自分の家で活動するというものであるが、わが町の方は、ボランティア的に環境問題に入りこんでいくという違いがあるのではないかと。主眼というか、現実に今動いているところを比べるとそういうこともあるかと思っていますけれども、本田委員がおっしゃるようにせっかくこうして取り組んでいるのですから、そうやって取り組んでいることは町報の紹介を含めてPRしていくことが肝要である、それが逆に言うと町民のモチベーションに繋がっていくと考えています。

(本田委員)

北栄町は、風車がひとつの町民の心を吸収して、行政がそれを地域に発信したということで、環境家計簿であるとか、色々な事業が定着したということだと思います。湯梨浜町は、東郷池があるのに、東郷池の力というものをもっともっと吸収して、それを全国発信するというのを行政として考えてほしいと思います。

(宮脇町長：副会長)

今のお話と絡めてですけれども、こうやって総合的に取り組みを進めていると、逆にそれだけ薄まってしまって、ニュース性等が薄れてしまう。これらの取り組んでいる事柄が、ある日、例えば、東郷池ですから10月5日に集約化されて、みんながやって花火みたいに上がると、湯梨浜町はイベントをたくさん実施しているのでこれ以上はという気もありますけれども、そういうことも一つの方法であると思います。環境問題であれば、子どものシジミ採りなどの取り組みを入れ込む格好で、町民の身近な池であるということを感じられることをひとつ仕掛けないと、この活性化プロジェクト自体も小さなことを幾つもやっているとなってしまう。個々を拾い上げているが、町民の実感として足りないことがあるのかなと痛感しているところです。

(仙賀副町長)

今回トライアスロン大会を実施した訳ですけれども、そこの中の選手なり、或いは協会なりに東郷池を利用するのであれば、当然一緒に守っていこうよ、という取り組みを今後していけば全国発信できるのかなど。全国大会規模の色々なイベントなり、レースなりをやっている訳ですから、東郷池を皆さんで守っていくような取り組みが今後必要ではないだろうかと思います。こちらの事務局、或いは行政の方から積極的に発信していく方法を今後できれば、これが一つには東郷池、或いは湯梨浜町を全国発信できるものになっていくのではないかと。これらを22年度以降に実施していくという考え方を今後していきたいと思います。

(本田委員)

切り口は環境だと思っ訳です。全国的な大きな問題は、観光とか産業というのはどこでもやっている、では環境に対してどれだけ地元が、国民が力を入れているかということが、評価の対象にこれからはなっていくと思います。環境の切り口をどのようにまとめていくかということではないかと思っています。

(福楽委員)

女性団体の方で、女性フォーラムの内容として環境家計簿をつけましょうという取り組みを考えています。CO2を我が家ではどれだけ出しているかという実態を調べるものです。去年は、エコ袋を作ったり、新聞紙で袋を作りました。それを今度はCO2をどれだけ減らしているかを第一に考えていこうと思います。こうした東郷湖活性化プロジェクトの中で、女性団体がいかに関わっていくかが非常に大きなことであると思います。今8つの団体があり、どの団体も協力的にやっていますのでよろしくお願いいたします。

(尾崎委員)

料飲組合の代表という立場で出席していますが、商工会観光部会でも同様に、産業振興課と企画課が別々にイベント等事業を行っている。それは言ってみれば宿泊先であるとか、受入先であるとかそれぞれ繋がっています。にもかかわらず、それは企画課に、こちらは産業振興課にと持っていかれる訳です。どうして窓口を一本化しないのか、という意見が商工会の観光部会で出ました。是非、町には一本化してもらうような考え方になってもらわなければと思います。例えば、今回のトライアスロン大会で、約300人が参加して湯梨浜町内の旅館に宿泊したのかと考えたら、人数までわからないですが非常に少ないと思います。中華コスプレ大会もほとんどない。みんな安いところがいいということで日帰りしてしまうのですけれど、イベントをしても、結局いい所を見てもらっても観光で生計を立てている人へ還元されていないということです。そういう現状を一緒になって考えてもらうためにも、窓口は一つにしてもらいたいと思います。観光協会という組織もありますが、観光協会は産業振興課、まつりは企画課と別々の部署になっており、一本化してほしいという思いです。もう一つは、春休みとか、夏休みに大学のスポーツ合宿を受け入れたいというものです。ところが、受け入れるためにはあやめ池や運動公園などの使用が必要となりますが、スケジュール管理が一本化されていないので、教育委員会に行かなければわかりませんか、調整してくれる部署がないのが現状です。そういうことすべて調整できるような部署をつくってほしい

というのが、商工会観光部会、旅館組合等の統一見解です。

(宮脇町長：副会長)

トライアスロン大会も今年第2回ということでボランティアの方もたくさん協力していただきましたし、選手の方も喜んで帰られました。しかるに、その経済的効果はどうかというと、おそらく町内への宿泊は二桁であったらと思います。イベントによってその差があり、合併前から比較的是わい温泉・東郷温泉に泊まってくれるのは、グラウンド・ゴルフ発祥地大会とベテラン卓球東郷大会ということがあります。とりあえず大会自体を開く目的はそれぞれあって、生涯スポーツの関係とか、競技スポーツの関係等があって、担当課が分かれてしまうのですが、もともとの参加申し込みをする時に宿泊施設の紹介を入れて、旅館組合の窓口を通して宿泊先を割り振るというルールの一統化は進めてきているところです。中華コスプレ大会等参加者がなかなか宿泊先にお金を回す余裕が無いという場合もあり、もう少し旅館組合の方にもダイナミックな料金設定ができないものかとお願ひしてみようと思っています。おっしゃるように行政の立場として、要請があつて受けた時には、どこですで終わらずに成り代わつてご返事できるサービスの提供なりを進めていきたいと思ひます。窓口の一本化について、イベント課のようなものを作ればいいかなとも思ひますけれども、時期的にバラつきがあること、職員の仕事量の問題もあり非常に難しいと考えています。

(尾崎委員)

イベントはバラけていてもいいですけども、窓口として、例えば観光協会のような組織が一番はつきり分かりますよね。年間のイベントなり、施設予約を調整してくれる部署を一本化してくれるとありがたいと思ひます。

(宮脇町長：副会長)

観光関係の団体が聞いてこられることは、一時的には産業振興課の範囲ですから、それが例えばあやめ池スポーツセンターの使用に係ることでも、あやめ池スポーツセンターを紹介するだけではなくて、自分の課が所管している所が聞いてこられることであるから、ワンストップで応えることができるように十分考えていかななくてはならないと思ひます。

(尾崎委員)

観光協会に新しく2名の職員が入られた訳ですし、検討していただきたいということが商工会観光部会や旅館組合からの要望です。

(岩田委員)

あやめ池だけではなく、旧羽合西小等も使えますよね。旅館組合等で使うことができる施設を上手に使っていけば観光客等人が来ると思ひます。違う話ですけども、フサモの問題ですね。自分が取り組んだことですが、塩分が食物にとって非常に甘みをだすということがわかっています。今年は、ネギにフサモを使った場所、そこに更に600倍の塩分を散布しています。散布をしていないところとの差を調べてもらつて、数字ででてくれば取り組みがいがあります。サツマイモは塩をかけると果皮が赤くなるんです。甘みもあるし。その他には、新川と長瀬の柿が食べてみると全然味が違うんですね。潮風が当たるところと。フサモ

を畑に持ってきたのは、要するに東郷池が汽水湖で塩分を持っているということを逆手にとって使おうかなという自分なりの気持ちがあったもので、その当たりの追跡調査をされて上手に使ってください。

(仙賀副町長)

岩田委員は塩分をサツマイモなどにかけているんですか。

(岩田委員)

かけています。元気がよくなります。ただサトイモはダメらしいです。サトイモに塩分をかけると害があるということでした。種類によってあるらしいです。ネギは海水をかけると甘くなるということで、追跡調査をぜひお願いします。

(鳥取県中部総合事務所長代理)

アダプトプログラムの件について、参加団体が2団体増えられて21団体になったということですが、内訳として町内の団体と町外の団体がそれぞれいくつづつになっているかということと、それから例えば東郷池に行った時に分かるのか、活動状況がどういった形で表示されているのか教えてください。

(山田町民課長)

アダプトプログラムの参加団体は、現在21団体になりました。金融機関等事務所があるものを町内としますと、町外が2団体となります。それから、この団体がどこを担当しているのかというのは看板を設置しようということで計画しています。既に設置しているところもありますし、新しく加入されたところは新たに看板を設置してどこを担当しているのかを表示していきたいと思います。

(宮脇町長：副会長)

看板の部分はしっかり行政が役割を担っていかなくてはならない。

(鳥取県中部総合事務所長代理)

今町内、町外を聞いたのは、町外であればますます掲示していないと全然分からないということがありますし、逆に町内の方で言うと自分達がここをしっかりとやっているんだという意識付けをする意味でも、行ったらすぐ分かりますと、これが自分の町内或いは事業所がやっているところだと、きれいかきれいでないかもすぐ分かるということがあるといいかなと思います。もう一点、昨年度の事業報告で観光看板の設置がありましたが、それこそつい先日、韓国のテレビの件がありましたけれども、そのことを度外視してもインバウンド対策で韓国、中国のお客さんは確かに全国という単位で言うと中国はすごい勢いで増えていますし、鳥取県の場合で言えば韓国の方が比較的多くありますし、当然全部は難しくても一部ポイントになるところについては、看板が必要になってくると思いますが、そのあたりについてはいかがでしょうか。

(宮脇町長：副会長)

インバウンド対策としても、屋外の看板に外国語の表記が全然ないということはありません。ただ、町のリーフレットは、英語はアメリカのハワイと交流している関係があり英語版を作っていますし、また、韓国語版もあります。現実的に町内の旅館にも韓国からお客さんが来

ていらっしゃいますし、整備するものについては進めていきたいと考えています。

(福羅委員)

推進会議が非常に広範囲でやっていることから、活動しているところに、例えば梨のような共通のマークを入れるとか、「東郷湖は地域の宝」といった文字を入れるとか、意識を統一していくことで意識を高めていくということも大切であると思います。

(宮脇町長：副会長)

マークのことで言えば、町章をもっと活用していくべきであるという意見があります。わが町の特色を生かした取り組みを検討していくとともにそのような発想も加えていく必要があると考えています。

(仙賀副町長)

韓国ドラマのロケについて、受け入れる側も大きな労力がかかることから体制的なことも考えていくへぎだと考えているところです。東郷湖もからめて発信できたらと思っています。

(宮脇町長：副会長)

是非、東郷湖でロケをしてほしいと考えています。文化の違いによる様々な無理難題があると聞いていますので、慎重に対応していきたいと思っています。

(長委員)

野花梅溪散策ツアーの取り組みで感じたことですが、周辺にある北山古墳への道が整備されておらず、今では単に山に見えてしまいます。そこから見える景色はすばらしく、景観に配慮した整備をお願いします。

(山田会長)

皆さん、貴重なご意見ありがとうございました。今いただいたご意見を集約いたしますと、

- ①一つの事業を実施することに付け加えて、より付加価値をつけることが必要である。
- ②問い合わせ窓口をどのようにするかを総合的に検討することが必要である。(推進会議の窓口・個々の事業の窓口)
- ③多くの事業を実施していることから、テーマ性がぼやけてしまうことが懸念される。
- ④情報発信の創意工夫が必要である。
- ⑤健康・運動をテーマに、推進会議の事業として検討することが必要である。

以上、次回の推進会議までに事務局で整理検討してください。

それでは、(5) 今後の推進会議の進め方について、事務局よりお願いします。

(事務局：林)

今年度、3回の推進会議を予定しています。第2回につきましては、10月中旬を予定しておりまして、各事業の中間報告、推進会議としての進行管理のチェックを行いたいと思います。第3回につきましては、3月中旬を予定しておりまして、各事業の成果検証、次年度へ向けての目標設定を行い、翌年度に繋げていきたいと考えています。なお、次回開催日程につきましては、会長、副会長と日程を調整の上、ご案内させていただきたいと思います。

(山田会長)

以上で終了いたします。ありがとうございました。